

# 浦大春秋

URADAI SHUNJU

保護者会レター

## NO.36

2021 Spring



写真:有村 まさ美(広報部 副部長)

### Contents

## 学長との面談／学内ツアー

大学・短大の新型コロナウイルス感染防止対策などに関して、文屋善弘事務局長に細沼和美保護者会会長がお聞きしました。

- 広報部活動報告
- 企画部活動報告
- 防災用品入替
- 編集後記



## 防災用品入替

学生の皆さんは大学構内にある防災倉庫の存在はご存知でしょうか。1号館近くの自転車置き場の一角にあります。2021年3月で東日本大震災から丸10年ということもあり、普段あまり目にする事のない防災倉庫を取材させて頂きました。

2020年12月12日、冬晴れの日に総務課の梶課長に倉庫を案内していただきました。小ぶりのコンテナボックス型倉庫が2台あり、倉庫内にはソーラーシステムで稼働する電灯と換気扇が設置されています。備蓄品は水・食料(長期保存パン)、毛布や使い捨て濡れタオルなど個々に配布できる物の他、発電機・大型ライト・ガスファンヒーター・カセットコンロ(動力は全て共通のカセットボンベで使用する)などの機器類、連絡用の折り畳み自転車、テント、シート、簡易トイレなどがありました。

- Check 1** ▶ 発電機は大学構内の設備が使用可能であれば問題ありませんが、万が一停電になった場合に一時的にでも電気が使用できるのは安心につながるのではないかと思います。
- Check 2** ▶ 取材時は寒かったのであまり気にしませんでした。冬の寒さ対策に暖房器具や毛布などの用意があったのに対し、夏の暑さ対策が見当たらず検討が必要なのではないかと後で感じました。
- Check 3** ▶ 食料に関して、水と長期保存パン以外にもアルファ米やお汁粉・スープ類など、もう少しバリエーションがあればお腹だけでなく心も満たされるのではないかとしたのは親心でしょうか。ただし、アルファ米やスープなど水(熱湯)を必要とするものは飲料水とは別に水の備蓄を増やさなければならぬこと。それは盲点でした。しかし大学の水道水や調理実習室が使用可能であれば検討の余地もあるのではないかと思います。後はアレルギーをお持ちの学生さんへの配慮も可能な限りして頂けるとありがたいと思いました。



▲防災倉庫

▼発電機



◀長期保存パン

取材の最後に長期保存パンの試食をさせて頂きました。味はドライリング・チョコチップ・ミックスフルーツの3種類。ずっしりとしたカップケーキのようなパンが缶詰の中に2個、想像していたよりも美味しいと思えるものでした。賞味期限があと半年にせまり新しいものに入れ替えた際に、登校されていた一部の学生さんたちにこの長期保存パンを配布したそうです。



◀長期保存パンを受け取った学生さん

今回の取材では時代の変化と共に備蓄品の見直しも必要なのではないかと考えさせられました。それぞれに使用期限があり限られた予算や場所の問題を踏まえて備蓄・管理していくことの大変さや難しさを学ぶことができました。

(広報部 田崎留理)

### 編集後記

昨年から続くコロナの影響で大学行事や保護者会活動がほぼ中止となり、開催できた活動もかなり自粛して行い、本当に大変な1年でした。今回の広報誌を作成するにあたり記事内容もかなり苦戦しましたが、大学の方々や保護者会メンバーの協力の下、今回の発行に至りました。早くコロナが終息される事を保護者会一同お祈り致します。

(広報部部長 福元のみみ)

■浦和大学保護者会に対する、ご質問・ご意見・ご感想などございましたら、ご遠慮なく事務局までお問い合わせください。

浦大春秋 NO.36 2021年4月発行  
 編集・発行 浦和大学保護者会  
 (事務局)  
 〒336-0974 埼玉県さいたま市緑区大崎3551  
 TEL 048-878-3741(代表)  
 制作 望月印刷株式会社



# 学長との面談

2020年7月30日(木)

長い梅雨がまだ明けぬ薄曇りのこの日、新型コロナウイルス感染防止のため授業が完全にオンラインでの実施となり、学生がいない静寂に包まれたキャンパスで、2020年度の保護者会役員就任挨拶のため、久田有学長をお訪ねしました。当日は、細沼会長、山川副会長、森田副会長、福元広報部長の4名と最小限の人数で学長にお会いしました。

久田学長へ就任挨拶の後、お時間をいただき懇談させていただきました。それぞれの役員が一保護者として、大学への感謝や期待、わが子の様子やこの先の不安などをお伝えしました。久田学長は、現在かつてない状況に置かれている学生たちのことを思われ、保護者としての私たちの言葉に何度も頷いておられました。

大学生活を必要としている学生たちが、再び安心して集える日が1日も早く訪れるよう、大学の皆様と共に、私たち親も子どもたちを支える活動していきたいと改めて思いました。

(広報部 風間千晶)



▲久田学長と細沼会長



▲久田学長との新役員の初顔合わせ



▲本日の参加者全員で記念撮影

## 大学・短大の新型コロナウイルス感染防止対策などに関して、文屋善弘事務局長に細沼和美保護者会会長がお聞きしました。

2021年3月13日(土)、浦和大学会議室にて

### ▼細沼会長

本日はお忙しい中、お時間をいただきありがとうございます。2020年度は新型コロナウイルスの感染防止から、大学・短期大学部ともにその対応に腐心されたと思います。少しお話しをお聞かせください。



▲文屋事務局長



▲細沼会長

▼文屋事務局長  
まず初めに保護者会をはじめ保護者の皆様には、日頃より、本学の活動にご理解・ご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。さて、本学が取っている新型コロナウイルス感染防止対策に関しては、保護者会広報誌「浦大春秋第35号」(2020年9月発行)の紙面をいただいております。基本的な概要をお伝えしたところで。

### ▼細沼会長

親の立場からお聞きしたいのですが、学生は4月初めに健康診断を実施し、その後、オンライン授業を中心に学修を進め、6月から対面授業となりました。また、全国的に感染者の増加がみられ、特に若者の感染が増加しているのと、7月20日から再度オンライン授業に切り替わったと思います。こういった対応はやむを得なかったと思いますが、学生は大変だったと思いますが、いかがでしょうか。

### ▼文屋事務局長

誰もが経験のないことを行っているわけですが、本学は小規模な大学であり、各学科の特性(資

格取得のための実習科目が多く設置されていること)や外部の幼稚園・保育園、福祉施設、学校などへの実習があるため、出来る対策を取らなければならず、対面での授業をやらざるを得ないと考えておりました。しかしながら文部科学省等の通知があったことなどを踏まえ、新型コロナウイルス感染防止のために前期の授業はオンライン授業を中心に行うことになりました。学生の皆さんには、メール等で大学の対応を伝えたいと考えています。幸いにも本学は、少人数によるゼミを1年次から行っておりますので、一人一人の学生さんへの細かな連絡を教員から取ってまいりました。また、様々な書類提出なども郵送や電話でのやり取りなど、大規模な大学ではできない対応を行いました。本年4月に開設した現代社会科学科においても同様の対応が取れたことは、手前みそになります。本学の強みであったと考えております。

### ▼細沼会長

学生は授業がオンラインになったことで、学修に支障はなかったでしょうか。私の子供に関しては支障なかったと思いますが、学生は通信環境を含め、大変だったのではないのでしょうか。学生の皆さんも試行錯誤の部分があったと思いますが、同様に教員もネットの授業で、教材の編集やメールでのやり取りなどに苦慮したかなと感じています。大学では学生がオンライン授業を受けやすい環境を整えるべく、教務課と図書・情報センターでサポートを行って参りました。経費の面などから、もう少し先の導入を考えていたシステムなのですが、急遽、6月にmanabaという授業の基盤となるシステムを導入し、オンライン授業の基盤を整え、学生の利便性を高めました。

### ▼文屋事務局長

学生の皆さんも試行錯誤の部分があったと思いますが、同様に教員もネットの授業で、教材の編集やメールでのやり取りなどに苦慮したかなと感じています。大学では学生がオンライン授業を受けやすい環境を整えるべく、教務課と図書・情報センターでサポートを行って参りました。経費の面などから、もう少し先の導入を考えていたシステムなのですが、急遽、6月にmanabaという授業の基盤となるシステムを導入し、オンライン授業の基盤を整え、学生の利便性を高めました。

## 広報部 活動報告

2020年7月30日(木)

### 二〇二〇年度、はじめの二歩

新一年生の保護者が役員に加わり、二〇二〇年度初めての広報部会を行いました。例年であれば、毎年恒例の春の行事である入学式から始まり、さくらまつり、新入生歓迎会、オリエンテーション、授業など、たくさんの方々の取材で大忙しの広報部でありましたが、今年は新型コロナウイルスの影響を受け、全ての行事が中止になりました。新入生を迎える浦和大学・浦和大学短期大学部ならではの春らしいイベントは、大学関係者のみならずご近隣の方々にも楽しんでいただけるものとなっております。あたたかい空気に包まれる幸せなひとときであり、私自身、大変楽しみにしていた行事でした。私達保護者会の活動が始められたのは7月に入ってからとなりました。今年の新役員は7名。皆さん初めてにもかかわらず積極的に発言や行動して下さり頼もしい限りです。学生の授業の形態もオンライン授業中心に変わり、学生だけでなく保護者も不安でいっぱいとなった新一年生。新役員を通して皆様にも大学を知っていただく機会となればと、久田学長にお時間をいただき懇談を行い、その内容を上記に掲載しました。久田学長との懇談は緊張もありながらでしたが、雑談では笑い声もあり、遅れて始まった「はじめの一歩」、改めて保護者会の活動ができるありがたさを感じる日となりました。どんな状況であっても楽しく前向きに活動して、学生たちを支えて参ります。よろしくお願ひ致します。

(保護者会会長 細沼和美)



初めての広報活動にドキドキ



広報部の打ち合わせ

### ▼細沼会長

前倒ししてシステムを導入したことで、多額の費用が掛かったことですが、学生の学修の利便を考えて、大学にシステムを入れていただいたことは、学修がしつかりできるということに繋がって保護者としてとても安心できます。

### ▼文屋事務局長

そうですね。本学としては大きな経費をかけての導入になりましたが、学園本部がその必要性を勘案し導入を図ることが出来ました。ただ、年間の授業が組まれていたため、学内で対面とオンラインの授業を受けるといことがあり、学生の皆さんにご苦勞をおかけした面もあります。

### ▼細沼会長

そうですね。親や学生の立場からは自宅か大ででの学習にまよいましたが、学費も必要です。年度計画が組まれていた中でやむを得なかったのです。それ以外にも様々な面から予算をかけて取り組まれたことがあるのでしょうか。

### ▼文屋事務局長

コロナ対策で様々な物品や消耗品の購入が必要となりました。こういった予算は年度当初に予想していなかったものでしたが、様々な工夫により確保したといったところ。学生に通信費の助成を行ったこと、それ以外にも様々な対応を取りましたが、一例として6月の対面授業開始時にはスクールバスを1台増便し、座席数の半分の定員で運行するなど感染防止の対策を取りました。

### ▼細沼会長

少し踏み込んだこととお聞きしますが、新型コロナウイルスの対応のため、外に出ての実習が出来なかった学生もいるかと思えます。保護者の立場から見ると実習に係る経費は使っていないのではないかとおっしゃるのですが。

### ▼文屋事務局長

実習費ですが、これは学生さんの資格取得のために必要なもので、4年間又は2年間の経費を毎年の学納金として納入いただいて、総額とさせていただきます。また、直接の実習にかかる経費だけではなく、資格取得講座の実施や運営など、実習に係る様々なものに必要経費として納めていただいております。

### ▼細沼会長

学生が資格取得のため、入学から卒業までに必要となる様々な経費が実習費であり、それを各学年段階で納めているということですね。

### ▼文屋事務局長

そうですね。学生さんたちの資格取得を支援する体制に係る経費もありますが、実習費はその多くを直接学生さんたちの学びに関わる支出とさせていただきます。余談ですが、学生全員の実習先の確保は結構大変です。今年は特に新型コロナウイルス感染防止の対応から、受入れ先から見合わせてほしいなどの要請もあり、実習関係の日程が相当ずれ込んでおりますが、日頃から関係する皆様との細やかな連絡・連携を心掛けていくことによって、何とか実習に取組んでいる状況です。

### ▼細沼会長

実習先の確保をはじめ、新型コロナウイルスの影響で様々な面でご苦勞されながら、学生の学習支援をいただいていることがわかりました。今後も大学が学生をしっかりと支えていただければありがたいと思います。本日は時間の関係からここまでとさせていただきます。文屋事務局長さんありがとうございます。

### ▼文屋事務局長

今後とも保護者の皆様には、ご支援をいただき大学の活動をより良いものにして参りたいと考えております。本日はありがとうございます。



浦和大学保護者会  
企画部です!!  
今日はオープンキャンパスに  
初の試みで参加して  
おきます



浦和の魅力  
高校生に伝えたい!

2020年 8月8日(土)

# OPEN CAMPUS 2021

## オープンキャンパス取材

大学のオープンキャンパスの取材させていただき、  
2020年4月から設置された「現代社会学科」や既存の  
学科について、先生方にお話をお聞きしました。



### 企画部活動報告

企画部 宮下 ゆかり

保護者会では毎年十月に行われる大学の学園祭「しらさぎ祭」にワークショップで参加しています。二〇一九年度は台風のため、しらさぎ祭が中止になってしまいました。今年も新型コロナウイルス感染症防止のため中止に。そこで今回保護者会初の試みとして、大学のオープンキャンパスに参加し、ワークショップで行う予定であった制作キットと広報誌「浦大春秋」の配布を行いました。参加者の生徒さんや保護者の皆さんは暑い中足を止めてくださり、興味深く手に取って下さいました。

保護者会の活動を知っていただくと共に、浦和大学の良さを直接お伝えする良い機会になったと思います。

### YouTubeの取材を受けました。

以下のリンクよりご覧ください。



OPEN CAMPUS



コース対比	IB
新 2021年4月入学 「ソーシャルワーク」「心理支援」「健康スポーツ」	2020年4月入学まで 「福祉・心理」「健康スポーツ」「ビジネス」

2020年4月に開設された社会学部「現代社会学科」との学びの領域を整理した上で、「総合福祉学科」では、新たな3コース制とし、これまで以上に多様化する福祉ニーズに応えるため、相談援助や心理的な側面からの支援技術の修得、高齢者や障がいのある方の健康づくり指導、介護予防などを専門的に学ぶそうです。

そして、行政や医療など福祉に関わる分野との連携を視野に入れながら、実務能力の高い人材の育成を目指していると、学科で育成する人材像を話していただきました。



総合福祉学科 片山先生と

社会学部「総合福祉学科」では、病気や貧困、障がいといった、様々な課題を抱えた人々の身体的・心理的狀態から家族・人間関係や社会的状況まで幅広く理解して、多様な支援方法があることを学んでいるとのこと。

### 社会学部 取材

広報部部长 福元のぞみ

こどもコミュニケーションセンター長も兼ねている大久保副学長も、「1日でも早く「ぼっけ」が再開できることを願っています。」との事でした。なおこども学部のオンライン授業の出席率は大変良く、提出物や課題などもしっかり提出されている状況ですとの言葉もいただきました。



ぼっけ

親子の広場「ぼっけ」は、開設から6000人を越える保護者とこどもの登録があるそうです。ただ、今年も新型コロナウイルスのため、しばらくの間は「ぼっけ」の再開は難しいとの事でした。「ぼっけ」利用者の親子や学生の実習にも影響が出ているそうです。

現在オンライン授業を行っている先生からは、今後「ぼっけ」を背景にした授業を行うことなど、学生や利用者の親子に雰囲気や味を伝える環境づくりを整えるなどの配慮を考えていますとのことでした。

### こども学部 取材

広報部 有村 恵美子

### こども学科 親子のひろば「ぼっけ」

1号館3階にある小学校模擬教室は、実際に用いられている小学校の教室を再現した教室となっており、机や椅子も小さく、学生が実習に行く前に教室の感覚をつかめるようにしているそうです。壁には小学生が作成した書や絵も掲示されており、リアルな小学校の教室の雰囲気の中で効果的に学修が進められるとのことでした。

3年生で実施する教育実習の前に、この教室を用いて学生同士で模擬授業を行うことができ、環境は、浦和大学ならではの強みだと感じました。

2020年度の卒業が学校教育学科第1期生となります。全員が教員免許取得を目指してがんばっていました。

### 学校教育学科

### 現代社会学科

2020年度4月に社会学部・現代社会学科が新しく設置されました。私たち保護者はどんな科で何を学び、どんなことをするのか知りたいと思ひ、学科の先生にお話をお聞きしました。

現代社会学科で取れる資格には「社会調査士資格」申請科目が揃っていて、大学卒業とともに資格取得が出来るそうです。また中学校の「社会科」や高校の「公民科」の教員免許も取れるそうです。

まだ、将来何をやりたいか、なかなか浮かばない学生が多いとのことですが、入学して学びながら考えても充分間に合うとのこと。また、学科説明会では生徒さんよりも親御さんの方が興味津々にうなずいて聞いているそうなので、ぜひ保護者の皆さまにも興味を持って欲しいとおっしゃっていました。

お話を聞いて、今後に期待出来る内容を持った学科だと思いました。これから楽しみです。



現代社会学科の先生方

現代社会学科で取れる資格
社会調査資格
データ分析力がつく
教員免許
・中学校教諭一種免許状(社会)
・高等学校教諭一種免許状(公民)



OPEN CAMPUS



# 保護者会役員 浦和大学 学内ツアー

2020年10月10日(土)

保護者会幹事でもある大学総務課の梶課長に、大学の施設や事務室などを案内していただきました。学内はとても広く、知らない場所ばかりでしたので驚きばかりでした。

なお、私達の突然の訪問にもかかわらず、優しく暖かい対応して下さいました各事務室の方々におかれましてはご協力いただきありがとうございました。

学内ツアー  
START!

教務課

教務課  
野沢 課長

図書・情報  
センター

図書・情報センター  
司書の野口さん



学生自習室



初めは1号館「こどもコミュニティセンター事務室」から。ここはこども学部の子生が保育園・幼稚園・小学校の資格取得に関する事、福祉施設や特別支援学校での実習、介護等体験教育インターンシップ、教員免許取得に係るサポートや親子のひろば「ぼっけ」の運営・管理に関する事を行っているそうです。

続いて「学生自習室」。パソコンが25台あり、自習やレポートの作成など学生がいつでも利用出来るようになっていきます。建物を移動して3号館へ。「学生・就職課」は就職に関する相談、奨学金、国の就学支援制度や、アルバイトやアパートの斡旋など学生生活全般の支援を行っているそうです。また、心のメンタルのサポートを行う相談室もあります。また、学生だけではなく保護者の方も少しでも気になることがあれば相談のついでにいただけることでした。続いて「福祉教育センター事務室」へ。ここは、社会福祉士及び介護福祉士の資格取得や実習に関する事、学生へボランティア活動の紹介等を行なっているそうです。

またまた建物を移動し4号館へ。「教務課」では学生の履修登録や、授業日時の変更や成績関係、各種証明書の発行を行っているそうです。次に5号館の「図書・情報センター」を訪問しました。詳しくは7ページをご覧ください。

なお、廊下や各教室にはコロナ対策のための手指の消毒用アルコールや扇風機、アクリル板が設置されており、学生が安心して授業を受けられるように、コロナ対策がしっかりと行われていました。

広報部

小野田 えり子  
市川 則子

## 図書・情報センター

広報部 副部長 有村 まさ美

図書・情報センターの業務には本や資料の閲覧・貸出し対応の他、情報センターとしての役割があります。

2020年度はコロナ感染拡大の影響で前期授業が対面からオンライン授業に移行し、それに伴い学生はネット環境を整える必要に迫られました。その手助けをする図書・情報センター司書の野口さんにお話を伺いました。

学生からの問い合わせで一番多かったのは、学内のメール(アドレス)使用に関する事だったそうです。アクセスできない、上手くいかない等、漠然とした問い合わせが多く、それぞれ使用しているパソコン・スマホが違いため、電話では画面の状態が把握できず、操作の指示が困難だったり、具体的な状況をメールで送ってもらったりもしたそうですが、メールに不慣れた学生もいて、翌日になってメールが届いたり対応に苦慮したそうです。約一か月で200件を超える様々な問い合わせがあったとのこと。

これまで頻りに使わなかった大学メールの登録忘れや、登録したアカウントが見つからないなどあり、学生も先生方も初めての事で大変だったと思います。問い合わせの際には、何をしたら、何が出来ないなど、具体的な状況をきちんと説明する事を心掛ける必要があると強く感じました。

図書類の貸し出しについては、これまでは夏休み前くらいから多くなるのですが、今年是对面授業の時間も少なく、その後完全オンライン授業になったことから、貸し出しそのものが不可能になったそうです。対応策として郵送による貸し出しを検討しているとのことでした。ただし送料は自己負担になるそうです。

学生の皆さんが気軽に利用でき、たくさんの本を読める環境になればいいと感じました。  
(現在は来学可能となったため、平常の貸出を行っています。)



学生・就職課  
高橋 課長

学生・就職課



福祉教育  
センター

福祉教育センター  
井内 さん



図書・情報  
センター

